

## 2025 年度 一般野球大会要綱

### 1 チーム登録

- ① チーム会員は、年度当初に登録手続きにより会員の登録を行う。
- ② 登録チームを構成する代表者、監督、コーチ及び競技者は、一つの支部、チームのみ登録することができる。
- ③ 国民体育大会及び日本マスターズ大会については、別に定める規程による。
- ④ 登録は、A級、B級、C級の3階級とする。
- ⑤ チーム登録は、旭川軟式野球連盟ホームページの各種書式ダウンロードし一般選手登録名簿にパソコンで作成し、E-mail (arbb@cameo.plala.or.jp) で送信して下さい。

### 2 チーム編成等

- ① 登録人数は、監督を含む選手30名以内とする。ただし、北海道大会以上の大会登録人数は25名以内とし、参加人数は10名以上25名以内とする。
- ② 各大会でベンチに入れる人員は、監督を含む選手25名以内とする。
- ③ 登録以外でベンチに入れるのは、チーム責任者、マネージャー、スコアラー、トレーナー（有資格者）各1名とする。
- ④ 登録選手はユニフォームを着用し、監督30番、主将10番とし、選手は0番から99番とする。
- ⑤ 支部をまたがり登録する場合は、連盟の承認を必要とする。
- ⑥ 監督の変更、選手の追加・抹消、背番号等の変更は出場する大会の抽選日まで認める。E-mail で送信下さい。(E-mail:arbb@cameo.plala.or.jp)
- ⑦ **軟式野球連盟主催の北海道大会へ出場するチームは、同一支部予選会に出場した他チームの選手を3名まで補強することができる。(ただし、各大会規定の登録人数以内とする)**

### 3 競技運営

- ① 大会は、指名打者ルールを使用することができる。
- ② 打順表の提出は、第1試合開始予定時刻の30分前、第2試合以降、9回戦では前の試合が5回終了時まで、7回戦では4回終了時まで（それぞれの回に入ったら提出など、速やかな対応を心掛けて下さい）または試合経過1時間を目安に大会本部に提出し、登録原簿と照合し球審立会いのもと攻守を決定する。

- ③ 打順表は、連盟が指定したもの（6枚綴り）を使用すること。
- ④ 第2試合以降は試合開始予定時刻前でも、前の試合が終了した20分を目安に次の試合を開始する。
- ⑤ ダブルヘッターは、1日2試合まで行うことができる。継続して行う場合は、試合終了後30分を目安に次の試合を開始する。
- ⑥ ベンチは組合せ番号の若い方を一塁側とする。但し、**同じチームが2試合続けて行う場合は、ベンチの入れ替えはしない。**
- ⑦ 試合時間、試合回数、コールドゲーム、降雨・日没による正式試合、試合時間等は開催する大会によって定める。
- ⑧ 延長戦は、大会で定める回数に満たなくても、試合時間が経過して同点の場合はタイブレーク方式の延長戦を行う。試合時間内で定めた回数が終了し同点の場合は延長戦を行う。
- ⑨ タイブレーク方式は、継続打順で、前回の最終打者を一塁走者、その前の打者を二塁走者とし、0アウト・二塁の状態にして、勝敗が決するまで行う。
- ⑩ 降雨・怪我等で試合を中断した場合は、審判団の判断でロスタイムを取る場合がある。
- ⑪ 試合前に用具の点検を行う。
- ⑫ 試合中のファールボールは、各チームの協力により回収する。
- ⑬ 各大会準々決勝まではチーム審判員制度を導入し行う。

#### 4 用具、装具等

- ① 使用球は、連盟公認のM号とする。
- ② バットは、公認野球規則で規定されたもののほか、一本の木材で作った木製バット、竹片・木片などの接合バット、金属はJ S B Bのマークを付けた公認のもので、少年用及び、改造、加工した物は使用出来ない。  
但し、後付けフレアグリップの使用については、専用テープ等で完全に固定・被覆された、なだらかな形状のものであれば使用を認める。
- ③ 捕手は、連盟公認（JSBB マーク付き）のレガース・プロテクター、捕手用ヘルメット、捕手用マスク（スロートガード付）を装着しなければならない。また、**捕手用ヘルメット、捕手用マスク（スロートガード付）は、連盟公認（JSBB マーク付き）で、SGマークの付いた物を使用しなければならない。なお、捕手用マスクのSGマーク付きは2025年度は義務付けとする。**
- ④ 捕手は、ファールカップを装着しなければならない。
- ⑤ 打者、次打者、走者、ベースコーチは、SGマークの付いた連盟公認のヘルメットを着帽しなければならない。
- ⑥ 2022年度より、SG基準を満たした顎ガードつきヘルメットの使用

を認める。

- ⑦ 監督、コーチ、選手は、同色、同形、同意匠のユニフォーム、アンダーシャツ、帽子、ストッキングを着用しなければならない。
- ⑧ スパイクシューズの色は、全員同色でなくても構わない。
- ⑨ 投手のサングラスの使用を認める。ただし、ミラーレンズは除く。
- ⑩ 野手がサングラスを庇の上に乗せることを認める。
- ⑪ ベンチ内での電子機器類（携帯電話、パソコン等）及び携帯マイクの使用を禁ずるが、電子スコア記録用として1台の使用は認める。  
また、指示用のメガホンはベンチ内に限り1個の使用を認める。

#### 5. 加盟登録料及び大会参加料金等

- ① 加盟登録料は、 1チーム20,000円
- ② 各種大会参加料は、1チーム15,000円  
但しシニア大会は、1チーム11,000円
- ③ 加盟登録料は4月20日までに、大会参加料は、各大会の参加締切日までにゆうちょ銀行に振込ものとする。（振込の無いチームの参加は認めない）
- ⑤ 野球ネット登録料 1名 200円  
加盟登録料とともに4月に振込。なお、年度途中で追加登録された方の分は、10月までに連盟事務局に支払う。

#### 6. 新日本スポーツ連盟全国軟式野球大会の予選を会長旗とする（8月開催）

- ① 参加資格は、おはよう登録チーム及び一般登録チームとする。
- ② 参加チームは、参加締切日までに、新たに選手登録をするものとする。
- ③ 選手登録は、他チームとの重複は認められない。
- ④ 他チームからの補強選手を認め、補強の人数制限は設けない。なお、ユニフォーム等は規則通り同一とする。（補強選手はおはよう・一般に登録のある選手に限る）
- ⑤ 試合は、7回戦（100分）とし、同点の場合は、タイブレーク方式で勝敗を決める。  
（時間内は通常延長）
- ⑥ 優勝・準優勝チームは北海道大会に出場し、優勝チームは全国大会に出場する。
- ⑦ 北海道大会及び全国大会出場チームは、予選に参加した選手の中から、新たに補強選手を登録することが出来る。（ただし、規定登録人数を超えないこと）
- ⑧ 全国大会出場チームは、新日本スポーツ連盟全国軟式野球大会の登録名簿を提出し、交通費、宿泊費は出場チームの負担とするが、参加料・広告負担金は、当連盟が負担する。

この要綱を遵守するほか、全日本軟式野球連盟及び北海道軟式野球連盟が定める規則を適用するものとする。

